



NEWS RELEASE

2023年6月30日

鹿児島市の商業地区への訪問動向等に関する調査結果について

株式会社 九州経済研究所

鹿児島市中心部では、2021年6月にLi-Ka1920、22年4月にセンテラス天文館、今年には「AMU WE」やシェラトン鹿児島などを含む「キラメキテラス」の全面開業など、新しい商業・複合施設が相次いで開業した。これらを踏まえ、当研究所は鹿児島市民を対象にインターネット調査を実施し、主要商業地区への訪問動向等をまとめた。

【調査の概要】	
調査目的	鹿児島市民の市内商業地区への訪問動向を把握し、今後の消費活性化やまちづくりなどに生かすことを目的に調査を実施した。
調査時期	2023年6月上旬
調査方法	南日本新聞社の「みなみパス会員」による「みなみアンケート」(インターネット調査)にて実施
回答数	鹿児島市在住の800人
回答者属性	【性別】 男性 37.9% 女性 61.8% 不明 0.4% 【年齢別】 10代 0.5% 20代 2.6% 30代 12.6% 40代 23.4% 50代 27.6% 60代 25.8% 70代以上 7.5%

株式会社 九州経済研究所

【調査結果】

1. 過去1年間における鹿児島中央駅地区・天文館地区への訪問頻度の変化

過去1年間における鹿児島中央駅地区に買い物やレジャー、食事などで行く頻度の変化について、「あまり変わらない」が55.5%と最も多く、「増えた」が23.8%、「減った」は18.8%となった(図表1)。「中央駅D.I.」(中央駅地区に行く頻度が「増えた」と回答した割合から「減った」と回答した割合を引いたもの)は5.0となった。

また、過去1年間における天文館地区に行く頻度の変化について、「あまり変わらない」が54.1%と最も多く、「増えた」が23.4%、「減った」は20.9%となり、「天文館D.I.」は2.5となった(図表2)。

中央駅D.I.と天文館D.I.を男女別、年代別にみると、男性は40代のみ、女性は50代、70代以上を除く全ての年代で両D.I.がプラスとなった(図表3)。また、40代は男性、女性ともに両D.I.がプラスとなっている一方で、70代以上は男性、女性ともに両D.I.がマイナスとなった。

2. キラメキテラスへの訪問意向

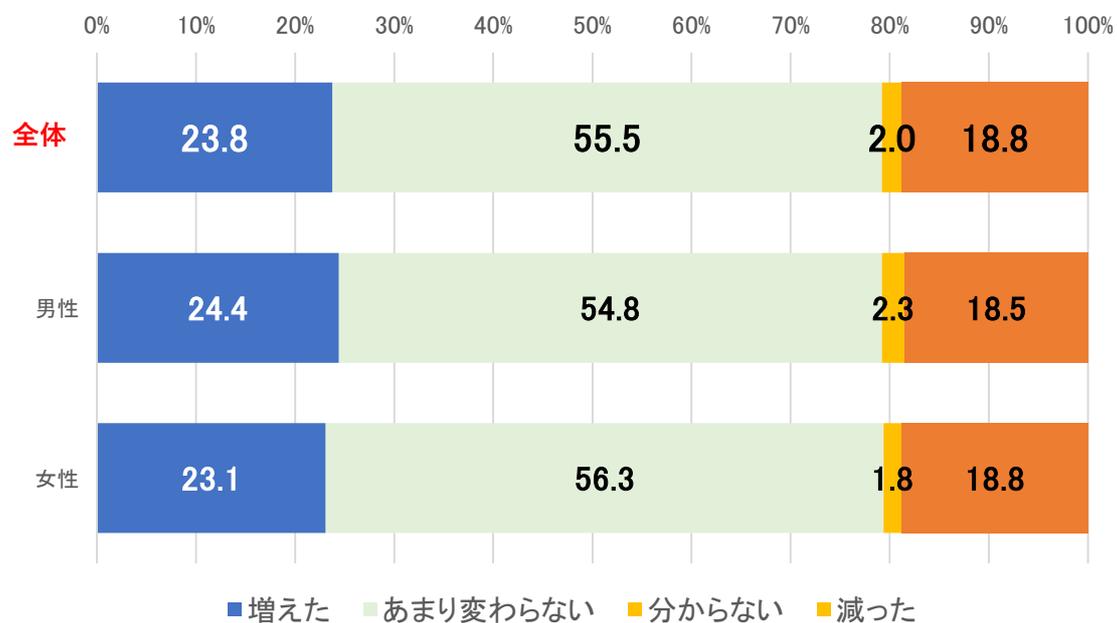
キラメキテラスへの訪問意向について尋ねたところ、「既に行った」は11.9%、「まだ行っていないが、行ってみたい」は41.8%となり、積極的訪問意向層(「既に行った」と「まだ行っていないが、行ってみたい」の合計)が53.7%と5割を超えた(図表4)。鹿児島市初の外資系ホテルであるシェラトン鹿児島への関心の高さがうかがえる。

また、男女別の積極的訪問意向層の割合をみると、男性が43.2%であるのに対し、女性は59.9%となっており、中でも60代以上女性は6割超となっている。

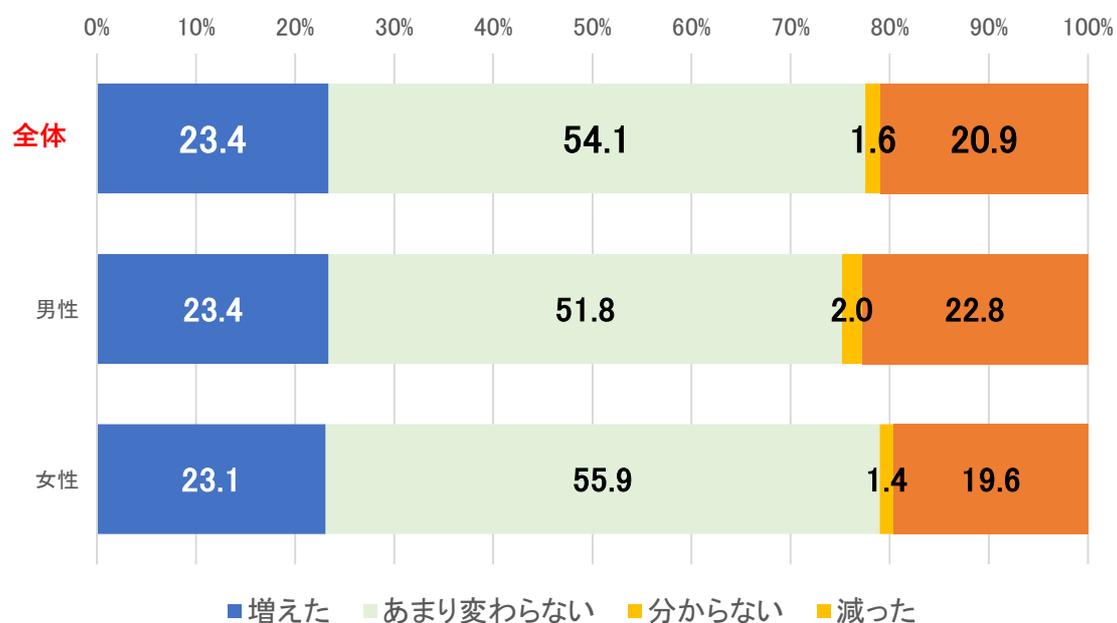
以上

【本件に関するお問い合わせ】 経済調査部 (TEL 099-225-7491)

図表 1 過去 1 年間における鹿児島中央駅地区に行く頻度の変化

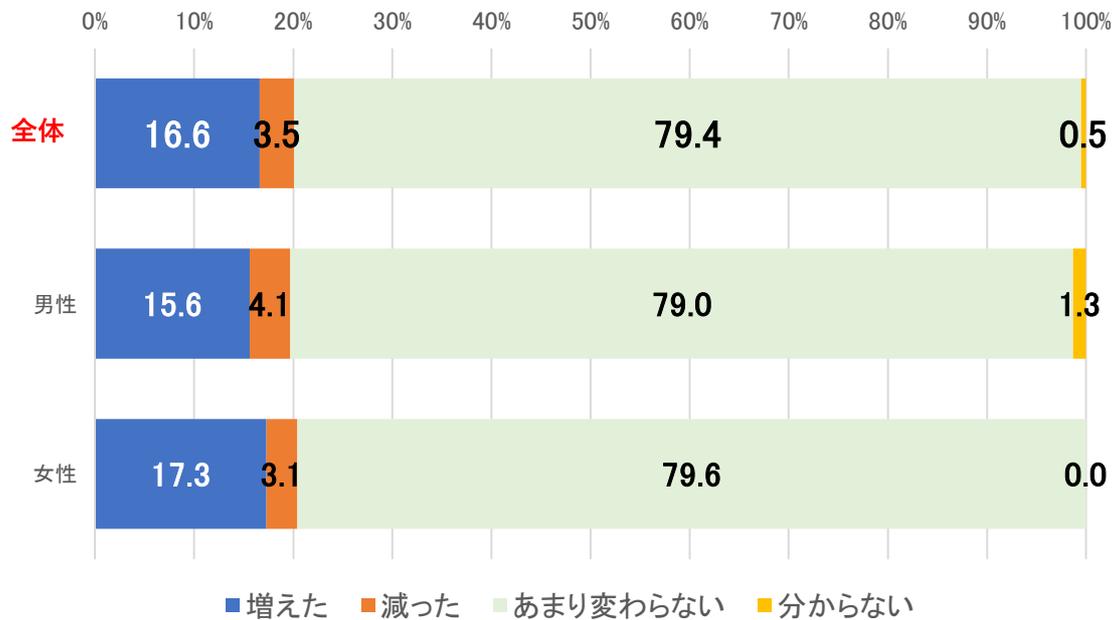


図表 2 過去 1 年間における天文館地区に行く頻度の変化

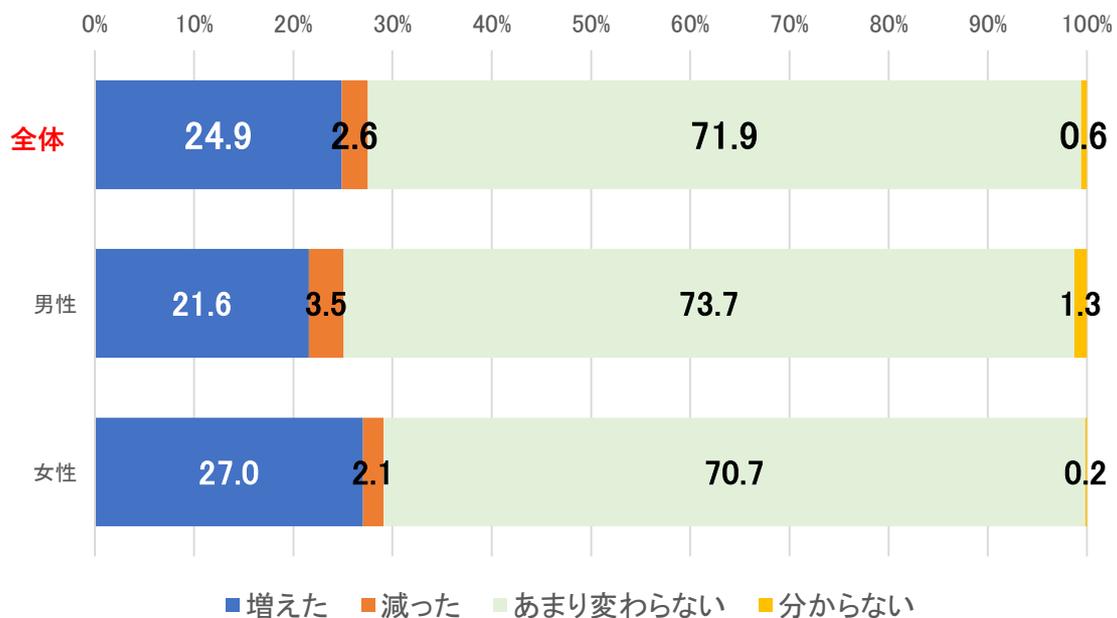


【参考】鹿児島市の商業地区への訪問動向等に関する調査結果(2022年10月)

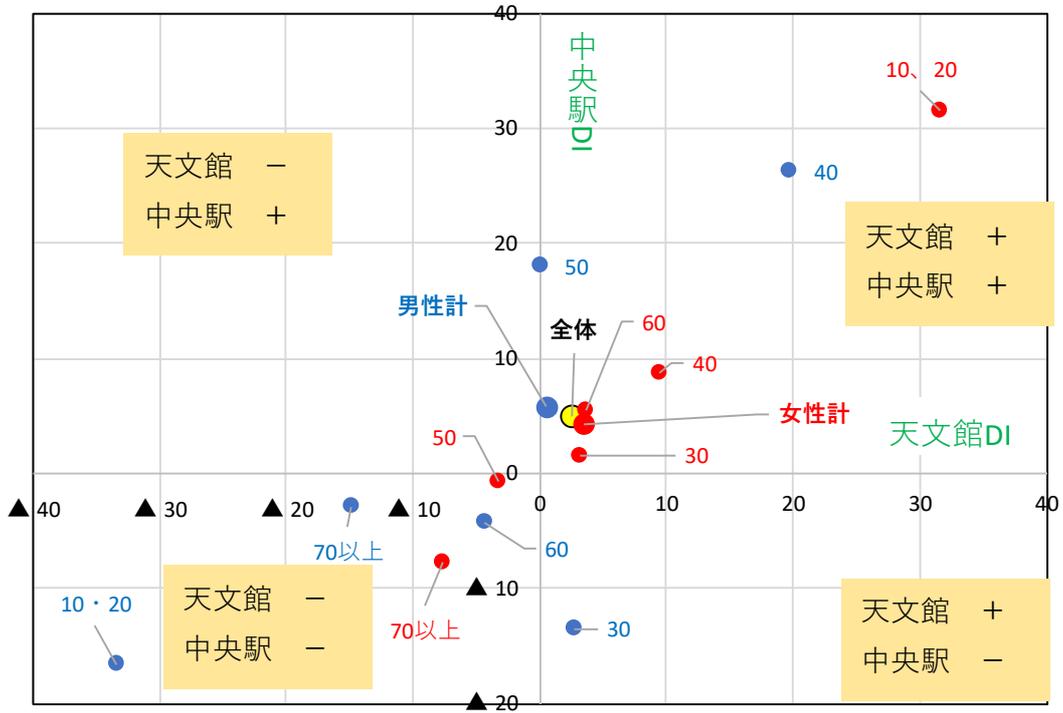
①Li-Ka1920開業(2021年6月)後の鹿児島中央駅地区への訪問頻度



②センテラス天文館開業(2022年4月)後の天文館地区への訪問頻度

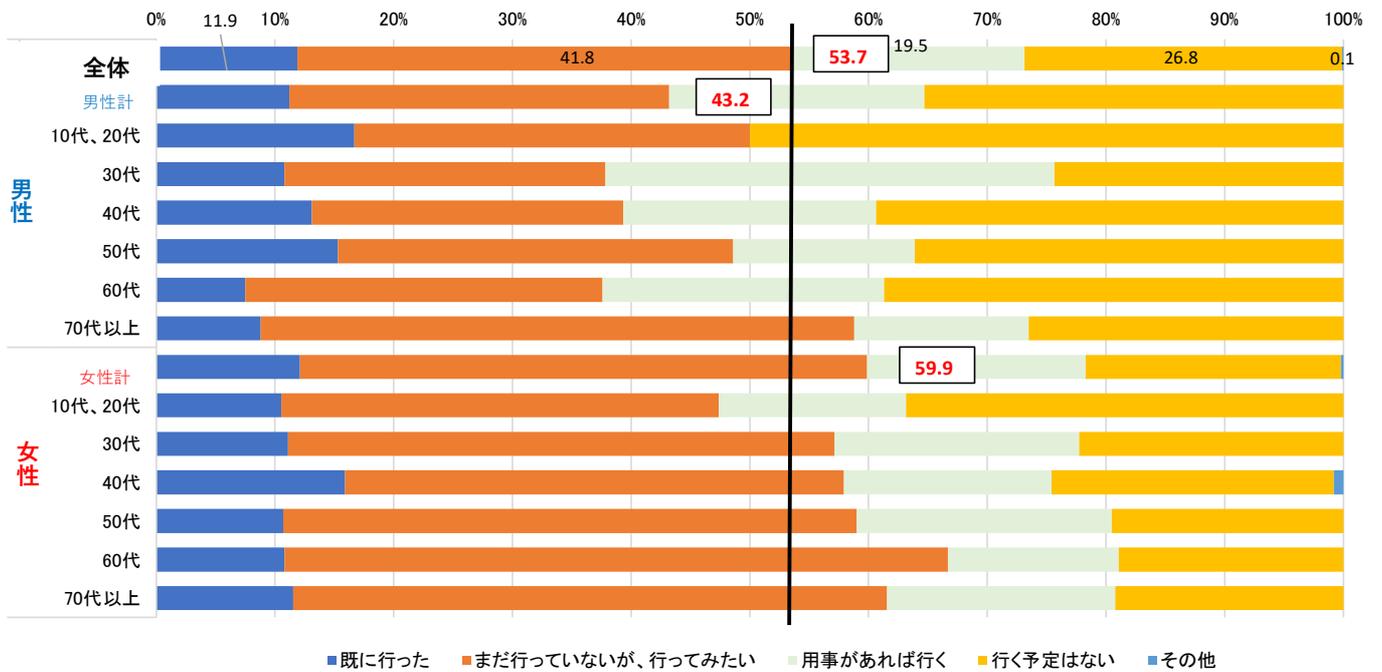


図表3 中央駅 D.I・天文館 D.I.(男女別・年代別)



注) ●は男性、●は女性、数字は年代(10代、20代は合算)

図表4 キラメキテラスへの訪問意向



注) 口内の赤数字は積極的訪問意向層(「既に行った」と「まだ行ってないが、行ってみたい」の計)